

ECALGA

アジアを中心としたECALGA海外 取引標準の活用事例

SCM委員会

株式会社 日立製作所

JEITA
EC CENTER

ECALGA

— 目 次 —

0. はじめに

1. グローバルでのEDI標準の展開状況

2. ECALGA 海外取引モデル概要

3. 活用事例

4. まとめ

0. はじめに

【海外進出する日系企業の悩み】

2008年頃から、日系企業(日立自身も含め)の各社より、、、、、、

- ・海外生産拠点でのEDIを検討したいが「標準がない」、「個別でやるのか」
- ・現地の日系受注者からは、「発注企業の個別EDI に対応が必要」

ユーザ
要望

【JEITA SCM委員会での対応】

2008年～SCM委員会内で、海外取引標準を検討開始
日立もSCM委員会に参画。海外の日系企業の要望を提示し、標準化を推進

標準化

【ECALGA標準リリース】

2009年度:ECALGA海外通常取引モデル(DRAFT)
2010年度:ECALGA「海外取引モデル」制定

1. グローバルでのEDI標準の展開状況～製造業向け～

概況


- ・欧米 : EDIFACT、ANSIなどの業界標準が国や地域ごとに展開
- ・アジア: 個別EDIで、標準がない
- ・日本 : JEITAを中心にCII標準が展開

【欧州】

- ・ODETTE,VDA(自動車業界標準)主流
- ・EDIFACT(国際規格)展開中
- ・Chem-estandard(化学業界)展開中

【米国】

- ・ANSI X.12(自動車業界)主流
- ・Rosetta(コンピュータなどハイテク業界)



中国・アジアでは
標準がない！
個別は非効率！

【アジア】

- ・中国: 欧米企業はEDIFACT,ANSIで展開。標準はない
- ・香港: 個別EDI、標準なし
- ・韓国: メールEDI中心、標準なし
- ・シンガポール: EDIFACT(EDIMAN)⇒個別EDIへ
- ・タイ、ベトナム: 個別EDI、標準なし

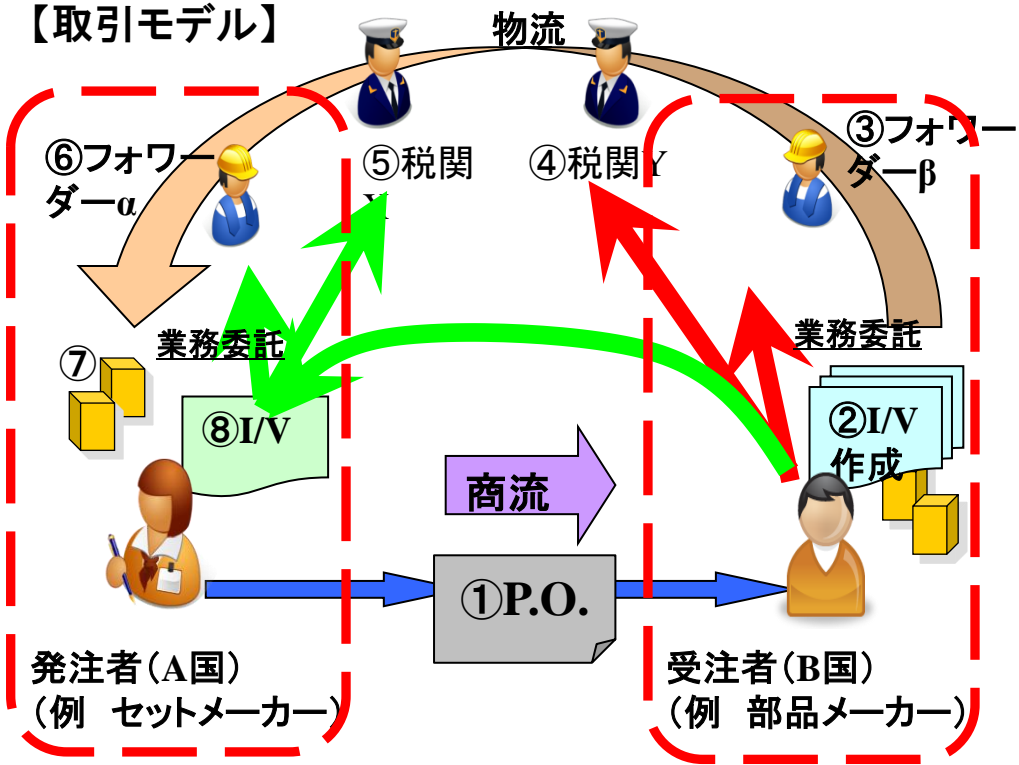
【日本】

- ・CII標準(建設、鉄鋼など)
- ・JEITA: 「海外取引モデル」制定(2010年度)

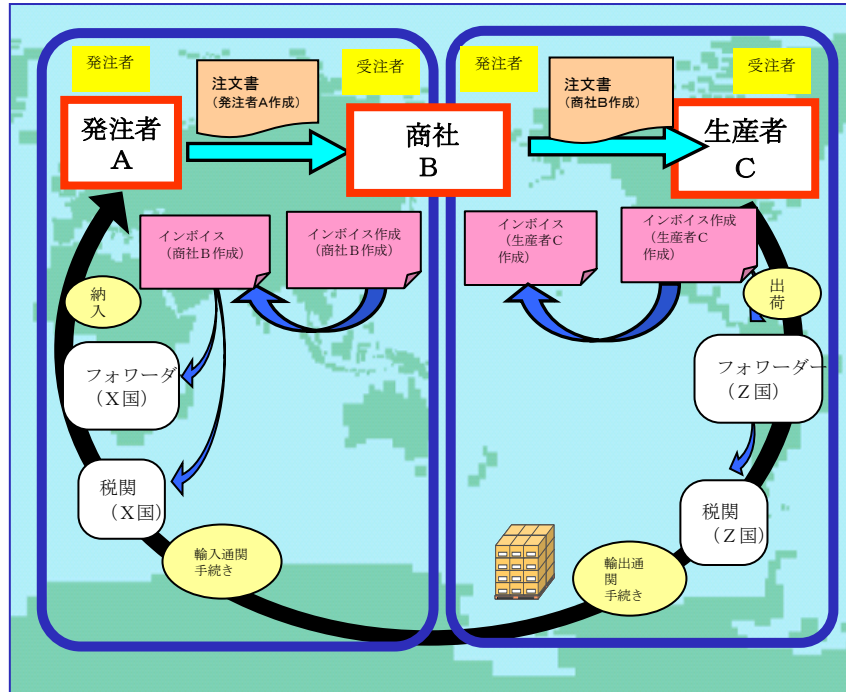
2-1. ECALGA海外取引モデル概要 ~目的~

目的 JEITA/ECALGAを拡張することにより、海外での利用環境を整備し、海外進出の日系企業における情報交換の利便性向上を図る。

【取引モデル】



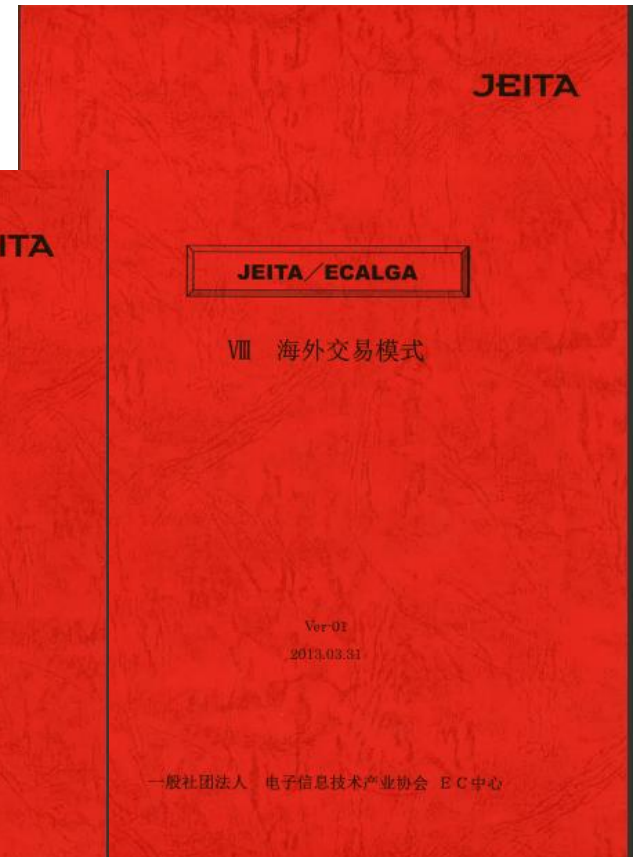
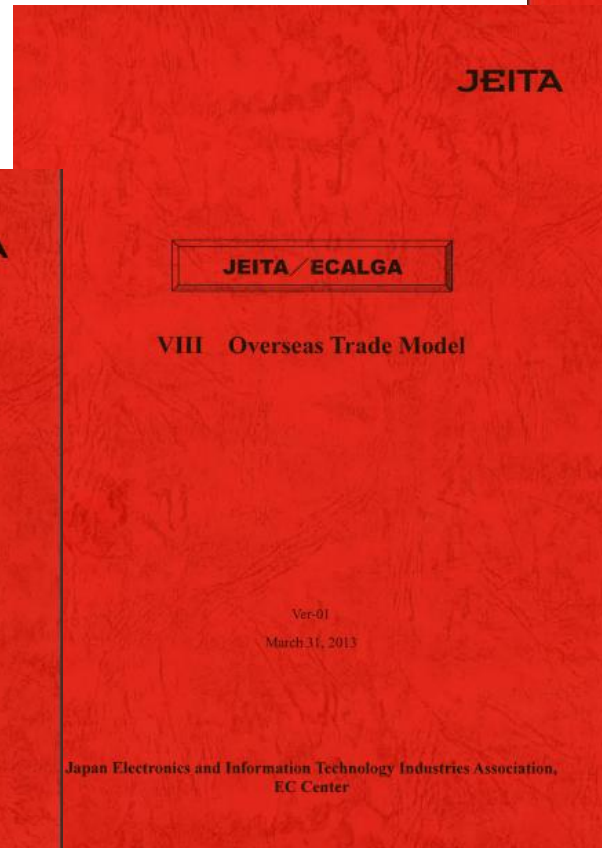
【商社経由取引の場合】



注) 例えば発注者(または受注者)とフォワーダーとの委託-受託関係を整理すると、発注者-受注者の1:1(相対)取引と見なすことが可能。

2-2. ECALGA海外取引モデル概要 ~海外取引版~

日本語、英語、
中国語版で提供



2-3. ECALGA海外取引モデルの業務フロー



2-4. ECALGA海外取引モデルの業務

リリース
業務

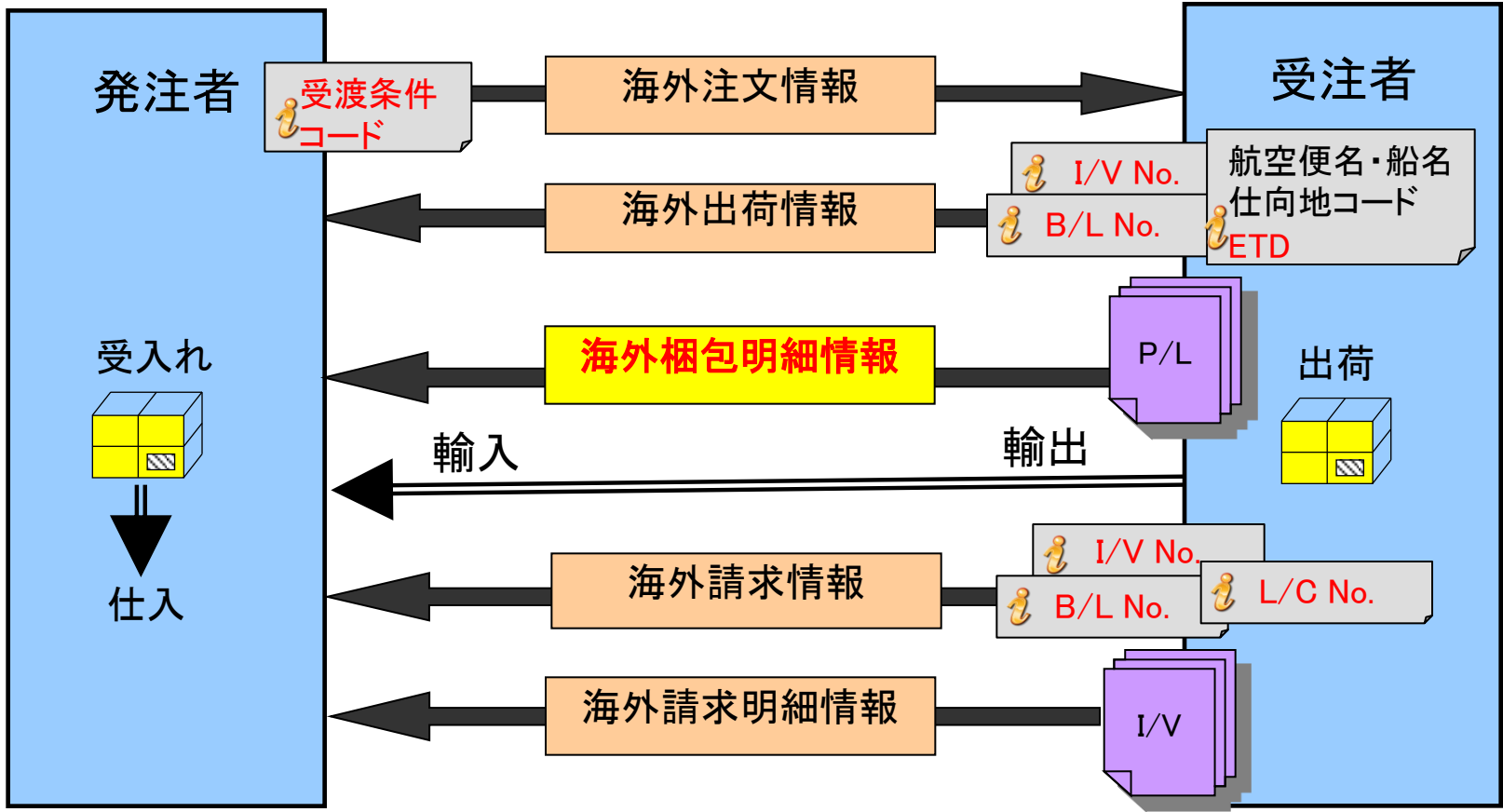
海外取引 15業務が標準化されています。

ビジネスコラポレイション (BC) 名称	ビジネスアクション (BA) 名称	ビジネスドキュメント (BD) ID	発→受 発←受	ビジネスドキュメント (BD) 名称
海外所要計画提示	海外所要計画提示	BD-0770	→	海外所要計画情報
海外予約注文の申込みと注文請け	海外予約注文	BD-0780	→	海外予約注文情報
	海外予約注文請け	BD-0790	←	海外予約注文請け情報
海外注文の申込みと注文請け	海外確定注文	BD-0720	→	海外注文情報
	海外確定注文請け	BD-0800	←	海外注文請け情報
	海外変更注文	BD-0720	→	海外注文情報
	海外変更注文請け	BD-0800	←	海外注文請け情報
	海外注文取消し	BD-0720	→	海外注文情報
	海外注文取消し請け	BD-0800	←	海外注文請け情報
海外納期回答	海外納期回答	BD-0810	←	海外納期回答情報
海外出荷	海外出荷	BD-0730	←	海外出荷情報
	海外梱包明細	BD-0740	←	海外梱包明細情報
海外検収	海外検収	BD-0820	→	海外検収情報
海外請求	海外請求	BD-0750	←	海外請求情報
	海外請求明細	BD-0760	←	海外請求明細情報

2-5. ECALGA海外取引モデルの特長 ~独自項目~

独自項目やBDの開発

国際貿易で使用されるインボイスなどのドキュメント類や貿易条件および貨物の物流情報などより、発注者・受注者が海外取引に必要な事項を、項目やBDとして新たに定義。



2-6. ECALGA海外取引モデルの特長～用語の定義(例)

(1) ETD

Estimated Time of Departureの略で、出港・出航予定日を示す。

(2) L/C

Letter of Creditの略で、信用状を示す。

(3) MAWB

Master Air Waybillの略で、混載事業者が仕立てた混載貨物に対して航空会社が発行する運送状を示す。

(4) HAWB

House Air Waybillの略で、航空混載事業者が発行する航空混載運送状を示す。

(5) B/L

Bill of Ladingの略で、船荷証券を示すが、習慣的にはSea Waybillも示す。

(6) I/V

Invoiceの略で、仕入書、つまり輸出者が輸入者宛てに発行する商品取引の明細書・計算書・代金請求書等を示す。

(7) SWIFT

Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunicationの略で、国際銀行間通信協会を示す。

(8) INCOTERMS

International Rules for Interpretation of Trade Termsの略で、国際商業会議所 (ICC) が制定した貿易条件を示す。

(9) City Code

国際航空運送協会 (IATA) が定めた、世界の主要都市・空港に対する略号を示す。

・
・
・

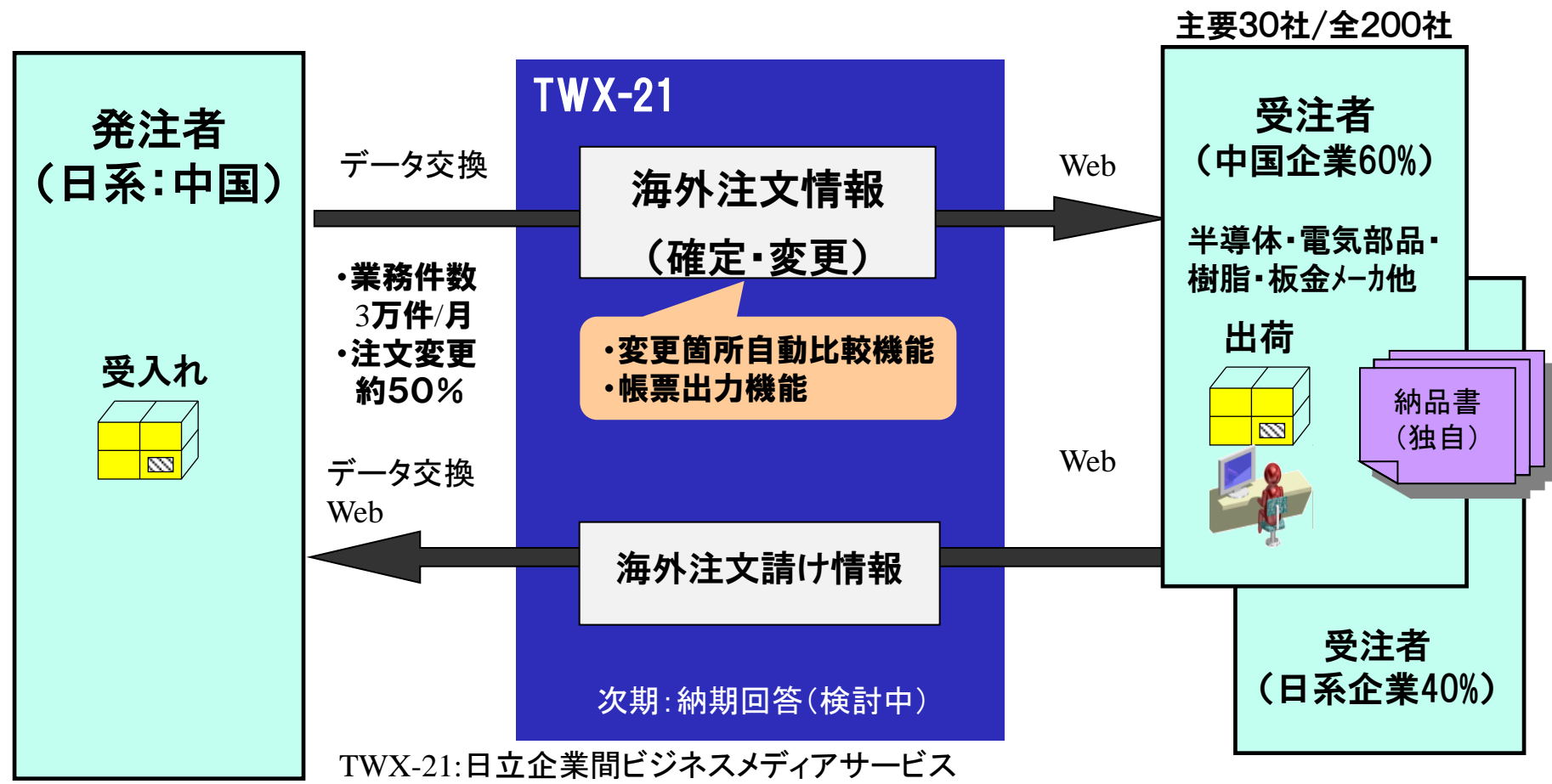
3. 活用事例 一覽

NO	概要	活用国
事例1	スモールスタート (注文&注文請けのみEDI化)	中国
事例2	納期・出荷管理業務の効率化・業務 の品質向上	マレーシア シンガポール
事例3	フォワーダーや商社を含めた スピードアップ・見える化	香港 中国

3-1. 【活用事例1】スモールスタート(注文&注文請けのみEDI化)

概要

【会社概要】電機部品メーカー(従業員約3,000人、所在地:中国)
【狙い】グローバルSCMの一環で、効率化を目的にスタート
【効果】情報共有が促進(属人的な情報偏在、停滞排除),納期変更の確実な伝達
【苦労した点】「紙文化」からの脱却⇒データ可視化、共有化によるメリットを訴求



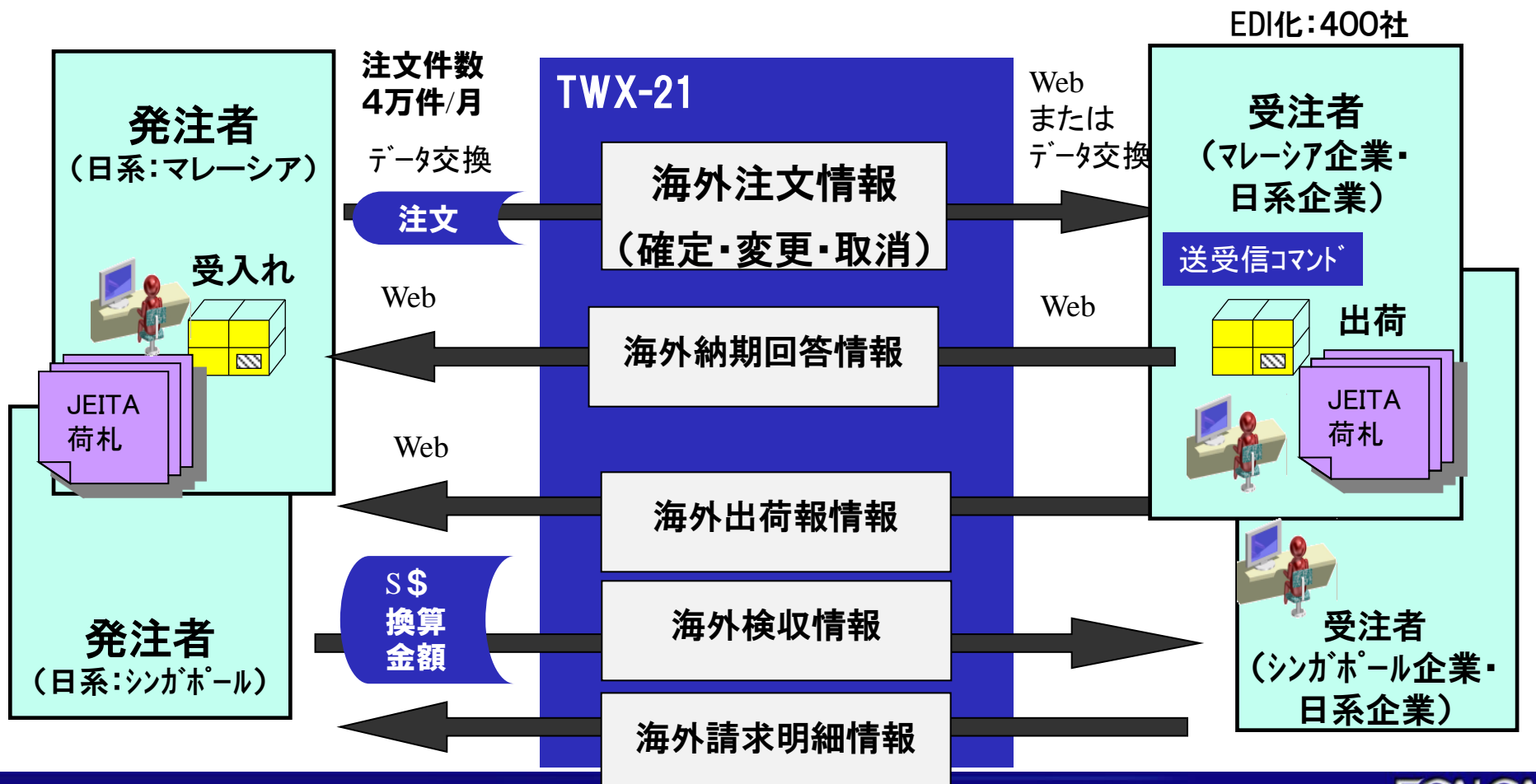
3-1. 【ご参考】中国でのペーパーレスできるか？

配布しておりません。

3-2. 【活用事例2】納期・出荷管理業務の効率化・業務の品質向上

概要

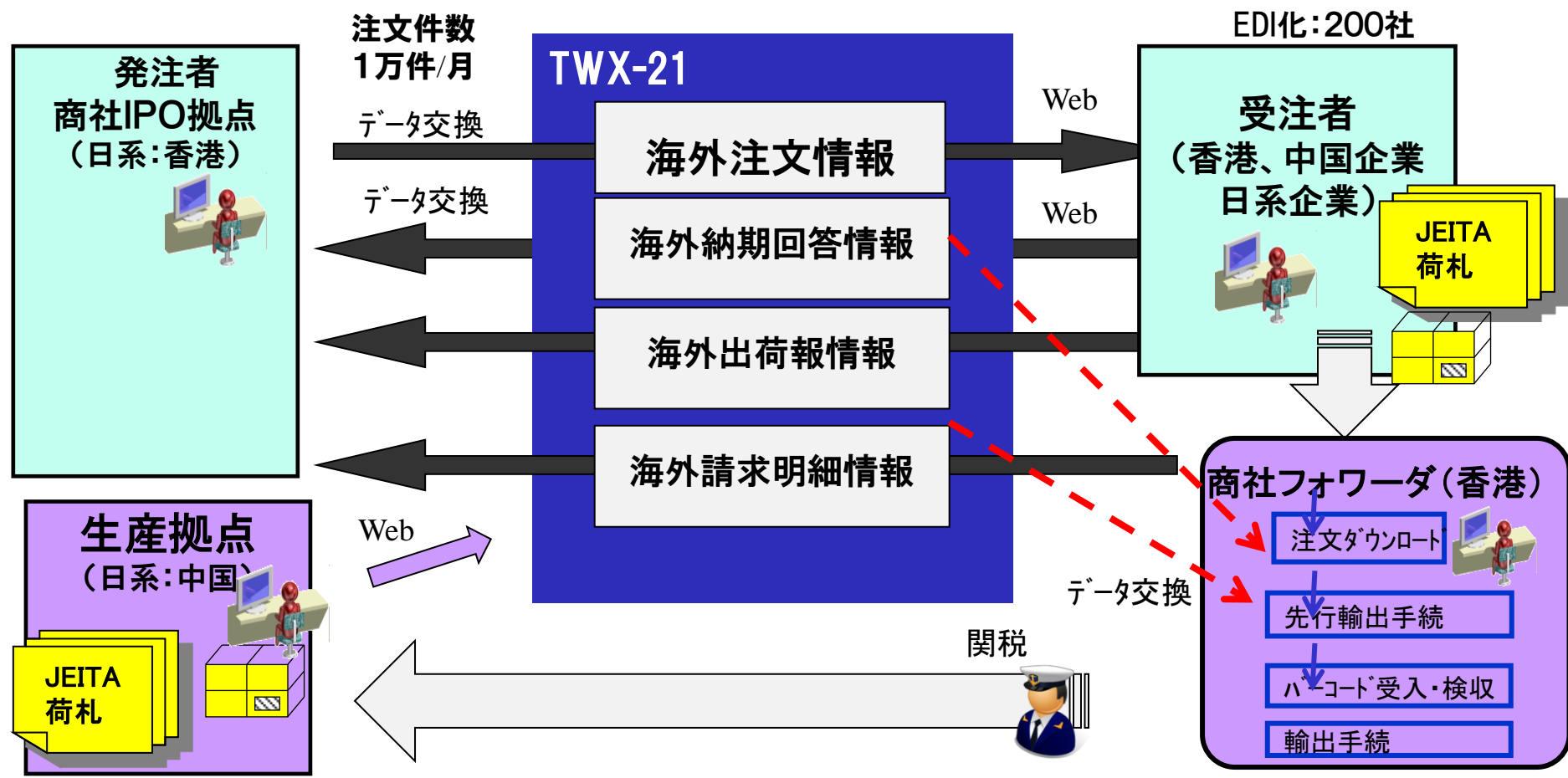
- 【会社概要】電機メーカ(所在地:シンガポール、マレーシア)
- 【狙い】注文変更などリアルタイムな情報共有、部品管理の精度向上
- 【効果】購買リードタイムの短縮、原価低減への貢献
- 【苦労した点】日系および現地サプライヤの社内システム連携への対応



3-3. 【活用事例3】フォワーダ・商社を含めたスピードアップ・見える化

概要

【会社概要】商社(所在地:香港、IPO拠点)および中国生産拠点(電子機器メーカー)
 【狙い】フォワーダと連携し、輸出入を伴う取引の業務進捗状況の見える化
 【効果】物品先入れ先出し、在庫削減、リードタイム短縮、進捗共有による先手管理
 【苦労した点】 商取引情報を活用し、フォワーダーとのデータ連携



3-4. 【ご参考】現地サプライヤ企業の活用例①

配布しておりません。

3-4. 【ご参考】現地サプライヤ企業の活用例②

配布しておりません。

3-4. 【ご参考】中国サプライヤ企業の活用例③

配布しておりません。

3-4. 【ご参考】現地サプライヤ企業の活用例④

(例)中国のサプライヤ様へのアンケート結果

(0)サプライヤ数:日系50%+ローカル50%

①EDI取引経験有り20-30%、初めて70-80%

②EDI形態:送受信+Web型5-10%、Web型90%以上

③利用したい拠点:1部門50%、複数部門で活用50%

(例)取引先説明会時の主なFAQ ⇒質問が多岐にわたり、個別のひざ詰め面談を実施
訓練期間を設置

①注文書にサインがないか良いのか

②注文到着のメール通知は、何人に送付できるか

③納期回答はいつまでに、すれば良いのか

④受注情報を納入拠点別に情報を確認したいが、どうしたら良いか

⑤社内システムで、出荷登録(出荷情報)しているが、納品書はWbeで出したい

⑥輸出処理を行っているが、その際の出荷登録はどうやれば良いか。

どこまで情報出す必要があるか

(例)ヘルプデスク

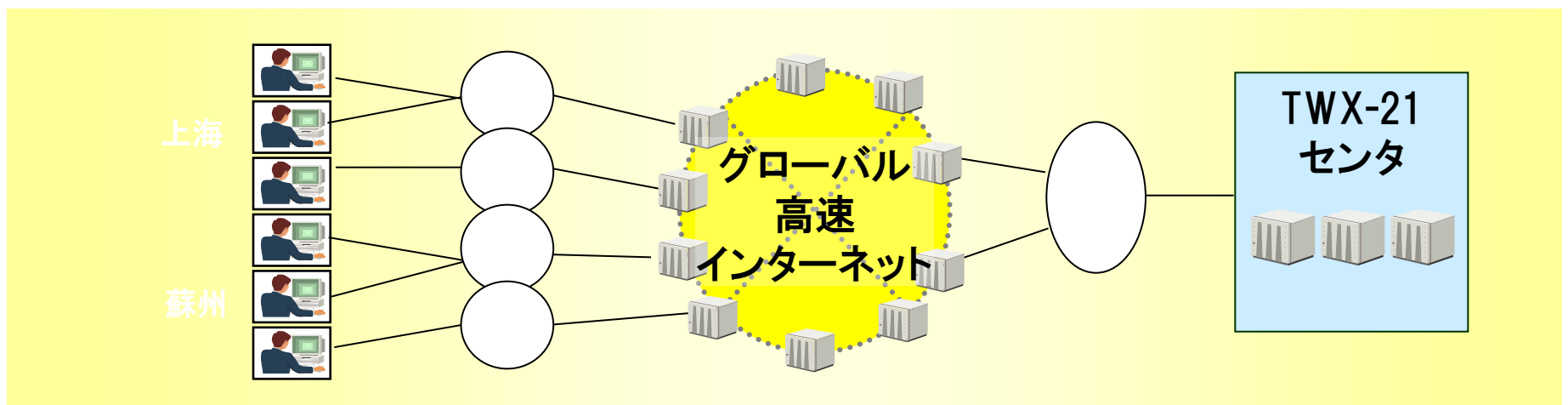
(0)ID、PWがわからない⇒JOB HOPPINGにより、業務が引き継がれにくい

①注文データが来てない

②納品書の発行したいが、該当注番がみつからない

3-5. 【ご参考】現地ネットワーク事情

課題	中国域内、日中間のインターネットが不安定かつレスポンスが悪い	➔	解決策	世界最大のオンラインアプリケーション、コンテンツの高速配信事業者 アカマイ・テクノロジーズ・インクと連携
-----------	--------------------------------	---	------------	---



地域	導入前	導入後	効果	備考
中国(上海) X社	8 秒	4 秒	50%減	中国ISP契約速度: ADSL 1Mbps
中国(蘇州) Y社	10 秒	4 秒	60%減	中国ISP契約速度: ADSL 2Mbps
フランス Z社	19.5 秒	5.7 秒	71%減	—

4. まとめ

概要

国や企業により、適用する業務範囲や規模は異なるが、中国・アジアでの日系企業のEDI化には、ECALGA海外取引標準は有効

【課題】

1. インボイスの訂正方式

国や、地域、会社により訂正方式が一意に定まらない。

商習慣の変更やシステム変更が難しい為、現地ニーズに対応したパターンなど検討が必要。

例：洗替(最新情報)、赤黒訂正、差分(100元⇒80元の場合、-20元を通知)

2. シンガポールなどでは、検収データや検収帳票には「S\$換算の金額」表示が求められる。

現状：備考欄に「S\$換算の金額」を個別設定 ⇒ 今後：「金額(邦価)」の有効活用

3. 米国などの24hrルール対応への考慮

例：米国向け輸出港の本船出港24時間前までに、製造業者などの情報を米国税関に許可要

4. まとめ

概要

国や企業により、適用する業務範囲や規模は異なるが、中国・アジアでの日系企業のEDI化には、ECALGA海外取引標準は有効

**国内同様、
JEITA海外取引標準を
活用しましょう！！**

ご清聴ありがとうございました。